

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月13日
【四半期会計期間】	第13期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	U L S グループ株式会社
【英訳名】	ULS Group, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 漆原 茂
【本店の所在の場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーX棟14階
【電話番号】	03-6890-1600
【事務連絡者氏名】	取締役 財務・経理担当 高橋 敬一
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーX棟14階
【電話番号】	03-6220-1416
【事務連絡者氏名】	取締役 財務・経理担当 高橋 敬一
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第12期 第1四半期 連結累計期間	第13期 第1四半期 連結累計期間	第12期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	564,869	926,690	3,302,187
経常利益(千円)	85,611	157,726	209,548
四半期(当期)純利益(千円)	40,329	24,983	175,324
四半期包括利益又は包括利益(千円)	16,987	68,918	157,337
純資産額(千円)	2,325,976	2,473,695	2,555,119
総資産額(千円)	2,677,202	3,242,137	3,701,099
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	706.62	439.48	3,077.75
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	695.11	437.43	3,046.68
自己資本比率(%)	85.8	74.9	65.8

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績に関する分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、6月日銀短観によると、長期化する円高や欧州債務危機による輸出減少等の影響が懸念されたものの、復興需要や消費拡大に伴い3四半期ぶりに大企業を中心に景況感は改善傾向を示しました。特に、設備投資に関しては、大企業製造業の2012年度計画で12.4%増加を見込んでおり、リーマンショック前の水準に達しています。一方、当社の属する情報サービス業界についても、大企業を中心に全産業で2012年度ソフトウェア投資計画が、前回調査の前年度比1.8%減少から1.7%増加（日銀短観：ソフトウェア投資額（全産業）参照）へと増勢に転じており非常に緩やかながらも回復局面にあります。このような経営環境の下で、当第1四半期連結累計期間の当社の経営成績は下記のとおりとなりました。

売上高	926,690千円	（前年同期比64.1%増）
営業利益	155,578千円	（前年同期比82.1%増）
経常利益	157,726千円	（前年同期比84.2%増）
四半期純利益	24,983千円	（前年同期比38.1%減）

特筆すべき事項を記載すると下記のとおりです。

売上高については、前連結会計年度における経営統合による新規顧客層の拡大と、公共、製造業等を中心とする既存顧客からのリピートオーダーの堅調推移により、第1四半期連結累計期間としては過去最高の926,690千円（前年同期比64.1%増）となりました。

損益面については、売上高の大幅な拡大と効率的な事業運営により経営統合の効果が発現してきており、営業利益及び経常利益はそれぞれ155,578千円（前年同期比82.1%増加）、157,726千円（前年同期比84.2%増加）となり過去最高を記録しました。また、四半期純利益については、保有上場有価証券の一部について減損損失を計上したことから前年同期比38.1%減少の24,983千円となりました。

（2）財政状態に関する分析

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、主に売掛金等の当座資産の減少により前連結会計年度末比12.4%減少の3,242,137千円となりました。また、負債については、主に法人税等の支払いによる未払法人税等の減少や賞与の支払いによる賞与引当金の減少により、前連結会計年度末比32.9%減少の768,442千円となりました。純資産は、自己株式の取得等により前連結会計年度末比3.2%減少の2,473,695千円となりました。

（3）研究開発活動

該当事項はありません。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

なお、当社は財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針を定めており、その内容等（会社法施行規則第118条第3号に掲げる事項）は次のとおりであります。

当社は、事業ドメインである「戦略的IT投資領域」への高付加価値サービスを通じて顧客満足度を向上させることにより安定的に事業成長することを基本的な経営方針としています。したがって、当社の事業遂行には、「戦略的IT投資領域」に精通した者が取締役や業務執行者に就任し、事業の方針を決定し、業務執行体制を構築することが必要であり、これによってはじめて当社の事業価値の維持・向上が図られるものと認識しております。以上が、会社の支配に関する基本方針であります。

現時点において、当社株式の大規模な買付行為に関する具体的な対応方針は特に定めておりませんが、上記の方針に照らして必要であると判断した場合には、社内外の専門家を含めて検討したうえで適切に対応策を講じます。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	232,000
計	232,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月13日)(注)1	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	60,040	60,108	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)2
計	60,040	60,108	-	-

(注)1. 「提出日現在発行数」欄には、平成24年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権等の行使により発行された株式数は含まれておりません。

2. 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。なお当社は単元株制度は採用しておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	8	60,040	150	818,085	150	808,321

(注)1. 新株予約権の行使による増加であります。

2. 平成24年7月1日から平成24年7月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が68株、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,275千円増加しております。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 3,106	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式（その他）	普通株式 56,926	56,926	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	60,032	-	-
総株主の議決権	-	56,926	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
U L S グループ株式会社	東京都中央区晴海一丁目 8番10号晴海アイランド トリトンスクエアオフィ スタワーX棟14階	3,106	-	3,106	5.17
計	-	3,106	-	3,106	5.17

（注）当第1四半期会計期間末日現在の所有株式数の合計は、3,873株（発行済株式総数に対する所有株式数の割合6.45%）となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	718,089	1,170,340
売掛金	1,536,416	620,771
仕掛品	247,268	362,854
その他	294,837	322,743
流動資産合計	2,796,611	2,476,710
固定資産		
有形固定資産	65,134	61,216
無形固定資産		
のれん	72,899	77,975
その他	7,131	8,118
無形固定資産合計	80,030	86,093
投資その他の資産		
投資有価証券	620,063	488,003
その他	139,259	130,113
投資その他の資産合計	759,323	618,117
固定資産合計	904,487	765,427
資産合計	3,701,099	3,242,137
負債の部		
流動負債		
未払金	340,905	165,376
未払費用	99,481	83,067
賞与引当金	184,169	73,214
品質保証引当金	11,435	4,211
受注損失引当金	203,657	181,615
未払法人税等	125,485	54,628
その他	180,845	193,231
流動負債合計	1,145,979	755,345
固定負債		
その他	-	13,097
固定負債合計	-	13,097
負債合計	1,145,979	768,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	817,935	818,085
資本剰余金	1,158,364	1,158,514
利益剰余金	608,070	597,988
自己株式	108,768	143,007
株主資本合計	2,475,601	2,431,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,641	2,260
その他の包括利益累計額合計	41,641	2,260
少数株主持分	121,159	44,375
純資産合計	2,555,119	2,473,695
負債純資産合計	3,701,099	3,242,137

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	564,869	926,690
売上原価	347,839	625,742
売上総利益	217,030	300,947
販売費及び一般管理費	131,595	145,368
営業利益	85,434	155,578
営業外収益		
有価証券利息	934	-
受取配当金	-	2,448
業務受託料	300	-
その他	49	5
営業外収益合計	1,283	2,454
営業外費用		
自己株式取得費用	1,101	306
その他	5	-
営業外費用合計	1,107	306
経常利益	85,611	157,726
特別利益		
投資有価証券売却益	-	167
特別利益合計	-	167
特別損失		
投資有価証券評価損	-	105,414
リース解約損	1,044	-
特別損失合計	1,044	105,414
税金等調整前四半期純利益	84,567	52,479
法人税等	37,749	22,941
少数株主損益調整前四半期純利益	46,817	29,538
少数株主利益	6,488	4,554
四半期純利益	40,329	24,983

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46,817	29,538
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	29,830	39,380
その他の包括利益合計	29,830	39,380
四半期包括利益	16,987	68,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,499	64,364
少数株主に係る四半期包括利益	6,488	4,554

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費 (のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。) 及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
減価償却費	2,344千円	5,531千円
のれん償却費	-	1,586千円

(株主資本等関係)

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)

1 . 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	19,737	342.00	平成23年 3 月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2 . 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)

1 . 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	35,066	616.00	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2 . 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	コンサルティング 事業	ソフトウェア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	508,960	55,908	564,869	-	564,869
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	508,960	55,908	564,869	-	564,869
セグメント利益	170,506	8,949	179,455	94,020	85,434

(注)1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費(全社費用)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

当社グループは、平成23年10月3日付でソフトウェア事業を吸収分割の方法により他社に承継しております。これによりコンサルティング事業の単一セグメントとなったため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	706円62銭	439円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	40,329	24,983
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	40,329	24,983
普通株式の期中平均株式数(株)	57,074	56,849
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	695円11銭	437円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	945	266
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月13日

U L S グループ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 手塚 正彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 長塚 弦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているU L S グループ株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、U L S グループ株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 . 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 . 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。